

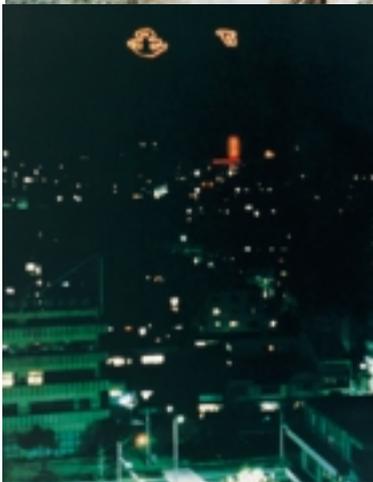
KANSAI PV SYSTEM GUIDE e

応用例

錨山

錨山中腹に錨のマークと神戸の市章を、夜間浮かびあがらせるイルミネーションシステムの電源に太陽電池が利用されており、神戸の夜を演出している。

本システムは阪神・淡路大震災時にも動き続け、廃虚と化した港神戸の暗闇のなかで、明るくひかる錨マークが、被災された神戸市民の復興への希望の光となった。



設置状況

兵庫県神戸市

所在地	兵庫県神戸市
システム	独立型
太陽電池容量	2kW
種類	単結晶
設置年度	1981年度

KANSAI PV SYSTEM GUIDE f

応用例

下津沖ノ島灯台

長期にわたり、下津港周辺を基地とする漁船、沖ノ島周辺のコンビナートへ出入りする大型タンカーの航行安全に寄与している。

このような灯台や灯浮標用の太陽光発電システムは、国内で約1000基が設置され活躍している。

海上保安庁

所在地	和歌山県下津沖ノ島
システム	独立型
太陽電池容量	0.5kW
種類	単結晶
設置年度	1978年度

